

はじめに

最近の農林水産業を取り巻く情勢は、国際的な枠組みの変化とともに、国内にあっては担い手の減少や高齢化の進行、消費者ニーズの多様化、環境問題や食の安全性への関心の高まり、農林業が有する多面的機能に対する国民の期待など、大きく変化しております。

このような状況のもと、本県の農林水産業が21世紀の魅力ある産業として発展していくためには、多様な地域特性を活かした特産物の開発や高付加価値化、先端技術を活用した独自品種の開発、低コスト生産技術の確立などが不可欠であるとともに、新たなニーズである生産性の維持と環境の調和、豊かな生活空間としての農林水産業の維持など、多様かつ総合的な課題解決が求められております。

本県としては、これらの問題や情勢の変化に柔軟に対応するため、各分野の振興プランに基づき、平成13年度から17年度までに農林水産業の試験研究が取り組むべき基本方向と重要な試験研究課題として「福島県農林水産業の試験研究推進構想」を策定（H13.3）し、行政・普及との密接な連携のもと、より効果的・効率的な試験研究の推進に努めてまいりました。

本誌は、「福島県農林水産業の試験研究推進構想」に基づき、本県の試験研究機関が開発した新品種や新技術等の主要な研究成果を広く理解いただくために作成したもので、関係者をはじめ多くの皆様に活用いただきたいと思います。

平成18年3月

福島県農林水産技術会議議長
福島県農林水産部長
松本友作

目次

<主要研究成果>

農業試験場	○イチゴ・アスパラガス・リンドウ新品種の育成	1
	○フラワーネット支持と有孔フィルムによるハウスネギの軟白法	2
	○夏秋キュウリの防虫ネット被覆栽培	3
	○水環境にやさしい水田の管理技術	4
	○梅割機の開発	5
果樹試験場	○モモ「ふくあかね」、ナシ「涼豊」、リンゴ「緋のあづま」の育成	6
	○天敵微生物（昆虫病原性線虫製剤）を利用した果樹のモモシンクイガ防除	7
たばこ試験場	○生分解性マルチフィルムによるタバコの栽培	8
	○選択培地とPCRを組み合わせた土壌中からの立枯病の高感度検出法	9
畜産試験場	○遊休桑園における放牧利用飼養体系の現地実証	10
	○エゴマ種実給与による豚肉の高品質化	11
	○イネソフトグレインサイレージの収穫・調製・給与技術	12
養鶏試験場	○「会津地鶏」の基本能力調査	13
	○「ふくしま赤しゃも」種鶏の育種改良	14
林業研究センター	○マツノザイセンチュウ抵抗性育種に関する研究	15
	○県産スギ平角材の強度性能	16
水産試験場	○常磐海域におけるマアナゴの生態の解明	17
	○産地水産物価格の動向と変動要因及びその対策	18
	○アオメエソ属（地方名：メヒカリ）の漁獲量変動要因	19
水産種苗研究所	○飼育水温の違いによるヒラメ種苗の無眼側体色異常	20
	○ホルモン投与によるホシガレイ親魚の採卵試験	21
内水面水産試験場	○ワカサギの人工採卵における人工精漿の利用	22
	○マゴイ養殖技術高度化研究	23
<特許・品種登録（出願）実績>		24